

京城神社(京畿道京城府倭城臺町鎮座)及龍頭山神社
(慶尚南道釜山府辨天町鎮座)ヲ國幣小社ニ列格ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク
昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣廣田弘毅



牛紙罪紙(十行全)(白井納)

拓甲第七七號

起
昭和十一年七月三日

裁可昭和十一年七月三日施行
決定昭和十一年七月三日施行

昭和十一年八月一日
指令

内閣總理大臣

弘

内閣書記官長



内閣書記官



別紙拓務大臣上奏京城神社(京畿
道京城府倭城臺町鎮座)及龍頭山
神社(慶尚南道釜山府辨天町鎮
座)ヲ國幣小社ニ列格ノ件ヲ審査
スルニ右ハ孰レモ格別ノ由緒有之

至當ノ儀ト被認ニ付上奏ヲ經テ
左ノ通指令相成然ルヘシ

指令案

京城神社（京畿道京城府倭城臺
町鎮座）及龍頭山神社（慶尚南道
釜山府辨天町鎮座）ヲ國幣小社
ニ列格ノ件上奏ヲ經タリ

上奏書

京城神社及龍頭山神社ヲ國幣社ニ列格ノ件

朝鮮ニ於ケル神社ハ大正八年創立仰出サレタル官幣大社朝鮮神宮
ヲ除クノ外社格ヲ有セズ朝鮮ハ疆域十三道一萬四千餘方里ニ亘リ
略本州ト其ノ面積ヲ同シクシ人口又二千萬ヲ算スルニ不拘官社僅
ニ一社ニ過キササルハ國體觀念ノ明徴ヲ圖リ民心ノ歸趨ヲ正シウス
ヘキ時ニ當リ遺憾トスル處ナリ殊ニ近時敬神ノ美風全鮮ニ漲リ神
社ヲ中心トスル精神運動ノ昂揚益々顯著ナルモノアリ斯ル時運ニ
際シ新タニ國幣社ノ創立ヲ乞ヒ愈々祭祀ヲ篤クシ尊皇ノ大義ヲ宣
揚シ以テ内鮮人一如ノ境地ヲ醸成スルハ施政ノ基本ト存セラレ差

向現存神社中諸設備、社礎等ノ完備セル京城神社及龍頭山神社ノ
列格ヲ仰カントス

京城神社ハ明治二十五年ノ頃京城居留民間ニ皇祖天照大神奉齋ノ
議起リ一時遙拜所ヲ設ケテ之ヲ奉祭セルニ始リ超ヘテ明治三十年
ニ至リ居留民會ニ於テ神社建立ヲ決議シ翌三十一年五月伊勢神宮
ヘ民會代表者ヲ派シ特別大麻竝ニ御神寶ノ授與ヲ受ケテ歸鮮シ一
時領事館内ニ奉安シ同年十一月三日神殿ノ落成ヲ俟ツテ御鎮座祭
ヲ行ヒタリ大正十五年三月氏子會ノ決議ニ基キ境内ノ大擴張竝ニ
社殿ノ大造營ヲ企圖シ同時ニ國土開發ノ始祖國魂神一座大己貴命
少彥名命一座ヲ増祀シ奉ラントシ寄附金ノ募集ニ著手シタルニ二

上奏書用紙

(日本標準規格 B-4)

十五萬圓ノ寄附金申込アリタルニ依リ順次主要建物ヲ完成シタル
カ此ノ間造營ノ事畏クモ 天聽ニ達シ昭和四年七月十五日特別ノ
思召ヲ以テ御手元金ヲ御下賜アラセラレ同年十月二十三日李王殿
下ヨリモ金一封御寄進アラセラレタリ神社鎮座ノ由來敘上ノ如ク
ニシテ一般民衆ノ崇敬篤ク創立以來京城駐在ノ公使領事ハ素ヨリ
日韓合併後ハ公式祭ニハ李王殿下ヲ始メ奉リ李塙公殿下李錫公殿
下ヨリ幣帛及御代拜ヲ差遣ハサレ總督總監道知事府尹等參列ス我
カ皇室ニ於カセラレテモ明治四十年十月皇太子殿下竝ニ有栖川宮
殿下同四十二年七月梨本宮殿下同妃殿下大正三年朝香宮殿下東久
邇宮殿下同十一年十月閑院宮殿下昭和四年四月高松宮殿下相次テ

成ラセラレ又ハ幣帛ヲ奉ラセ給フアリ由緒ニ於テ一般崇敬ノ度ニ
於テ朝鮮内ニ於ケル屈指ノ名社タリ

龍頭山神社ハ延寶六年(今ヲ去ル二百五十餘年前)宗義眞公現在ノ釜
山府龍頭山ノ地ヲトシテ釜山和館ヲ移轉セシ際金刀比羅神社ヲモ
移シテ大物主神ヲ奉齋シ内鮮通航ノ守護神トセシニ始マル後明和
二年七月住吉大神ヲ併セ祀リ降ツテ慶應元年二月天照大神ヲモ併
セ祀リ以テ今日ニ至レリ古ク海外ニ鎮祭セラレタル神社中現存セ
ル唯一ノ神社トシテ神威赫々内鮮通交史上眞ニ没却スヘカラサル
歴史ヲ有スル名社タリ而シテ社ハ往古ニ於テハ主トシテ對馬ノ領
主宗家ニテ維持シタリ後居留民役場ハ敬神會ト協力シテ其ノ維持

上奏書用紙

(日本標準規格 B4)

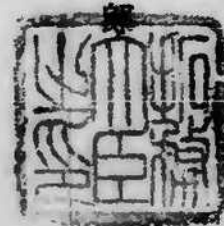
經營並ニ祭祀ノ事ヲ司リ明治四十一年以降大正二年迄居留民會ヨ
リ毎年一千圓内外ノ供進ヲ受ケ其ノ後ハ釜山府廳ヨリ毎年七百圓
ノ供進ヲ受ケ維持シ來レルガ昭和三年三月御鎮座二百五十年祭ニ
當リ三萬五千餘圓ヲ投ジテ境内整理建物ノ建造改修ヲ行ヒ社頭ノ
面目ヲ一新シタリ神社鎮座ノ由來敘上ノ如クニシテ一般民衆ノ崇
敬愈々篤キモノアリ

上述ノ事歴ヲ按スルニ京城神社龍頭山神社共其ノ創立古ク年ヲ闕
スルト共ニ一般民衆ノ崇敬篤ク諸設備擴充シ社礎又益々鞏固トナ
リ今之ヲ國幣ニ預ラシムルハ一ハ報本反始ノ誠ヲ致サシムル所以
ニシテ他ハ民衆ノ信仰生活是正ノ上ニ適切ノ方途ナリト思料セラ

ルルヲ以テ兩社共ニ國幣小社ニ列格、京城神社ニ在リテハ祭神ヲ
天照大神、國魂大神、大己貴命、少彥名命ノ一座、龍頭山神社ニ
在リテハ天照大神、國魂大神、大物主神、表筒男命、中筒男命、
底筒男命ノ一座ト被仰出度
右謹ミテ奏ス

昭和十一年七月二十五日

拓務大臣 永田 秀次



上奏書用紙

(日本標準規格 B4)

主任 管理局本多書記官

管地第三〇〇號

京城神社及龍頭山神社ヲ國幣社ニ列格ノ件

京城神社（京畿道京城府倭城臺町鎮座）及龍頭山神社（慶尙南道
釜山府辨天町鎮座）ヲ國幣小社ニ列格ノ件別紙上奏書進達ス

昭和十一年七月二十五日

拓務大臣 永田 秀次



内閣總理大臣 廣田 弘毅 殿

京城神社及龍頭山神社列格參考資料

上奏書用紙

(日本標準規格 B4)

御
覽
省

神社明細帳

京城倭城臺南山公園地鎮座

京 城 神 社

一 祭 神

主神 天照大神 一座

國魂大神 一座

大己貴命
少彥名命

一座

一 由 緒

當社ノ創建ハ朝鮮カ未タ異邦タリシ明治二十五年ノ頃京城居留民間ニ皇祖
天照皇大神奉齋ノ議起リ一時遙拜所ヲ設ケテ之ヲ奉祭シタリシカ超エテ明
治三十年ニ至リ居留民會ニ於テ神社建立ヲ決議シ翌三十一年五月伊勢神宮
ヘ民會代表者ヲ派シ特別大麻並ニ御神寶ノ授與ヲ受ケテ歸鮮シ一時領事館

内ニ奉安シ同時ニ伊勢神宮御用材ノ拂下ヲ受ケ同神宮棟梁ヲシテ神宮正殿ノ百分ノ十二ニ型レル正式神殿ヲ造營シ境内ヲ日本居留民公園倭城臺南山ノ勝地ニトシ同年十一月三日神殿ノ落成ヲ俟ツテ御鎮座祭ヲ行ヒ初メ南山大神宮ト稱シ後大正十二年民會ノ決議ヲ以テ社號ヲ京城神社ト改稱シタリ次デ大正十五年三月氏子會ノ決議ニ基キ境内ノ大擴張並ニ社殿ノ大造營ヲ企圖シ同時ニ之ヲ機トシ國土開發ノ始祖國魂神一座大己貴命少彥名命一座ヲ増祀シ奉ラントノ議一決シ次デ寄附金ノ募集ニ着手シタルニ二十五萬圓ノ寄附金申込ヲ受クルノ盛況ヲ見タルニ依リ昭和三年五月起工式ヲ行ヒ神殿幣殿拜殿神饌所手水舎參集所社務所等ノ主要建物ヲ順次完成シタルカ此ノ間御造營ノ事長クモ天聽ニ達シ昭和四年七月十五日特別ノ恩召ヲ以テ御手元金五百圓ヲ下賜セラレ同年十月二十三日 李王殿下亦金貳百圓ヲ寄進セラレ無上ノ光榮ニ浴シタリ

鎮座ノ由來敍上ノ如クニシテ社ハ乃チ京城府民ノ總鎮守トシテ一般官民ノ崇敬厚ク創立以來京城駐在ノ公使領事ハ素ヨリ日韓合併後ハ公式祭ニハ總督總監以下道知事府尹等必ズ參列シ李王殿下ヲ始メ李城公殿下李錫公殿下ヨリハ特ニ幣帛及御代拜ヲ差遣ハサレ又我カ皇室ニ於カセラレテモ明治四十年十月皇太子殿下並ニ有栖川宮殿下同四十二年七月梨本宮並ニ同妃兩殿下大正三年朝香宮東久邇宮兩殿下同十一年十月閑院宮殿下昭和四年四月高松宮殿下等相次デ當社ニ成ラセラレ又ハ幣帛ヲ奉ラセ給フアリ 次デ昭和六年八月ニハ神宮司廳ヨリ特ニ皇大神宮御物寄進ノ御沙汰書ヲ拜スル等由緒ニ於テ一般崇敬ノ度ニ於テ遙カニ鮮内ニ於ケル爾餘ノ神社ノ上位ニ在リ而シテ年社入二萬七千餘圓ヲ算セリ

十月十七日 十八日

一 社殿並ニ附屬建物

本殿 六坪五 拜殿 二十三坪三三 幣殿 六坪 神饌所 四坪

手水舎 二坪 參集所 二十四坪 社務所 百三十五坪

一 境内

七千百拾五坪

一 氏子

七萬三千八百戸内 (内地人 二萬二千六百七十戸
朝鮮人 五萬一千百三十戸)

一 境内神社

天満宮

祭神 菅原道真

宇佐八幡社

祭神 譽田別尊 比賣神 大帶姫命

伏見稻荷社

祭神 倉稻魂神 猿田彦神 大宮女命

昭和十年度京
城神社歳入
歳出豫算

第一項 神社 諸收入		昭和六年	昭和七年	増減	備考
第一項 神饌常帛料		三〇〇〇〇	三〇〇〇〇		李王職御三衣 六〇 京畿織道 三五 京儀店 一五〇 其 他 五五
第二項 神饌常帛料		三〇〇〇〇	三〇〇〇〇		
第三項 神饌常帛料		二二一八〇〇	二二五三〇〇	三五〇〇	
第四項 神饌常帛料		七〇〇〇〇	七五五〇〇	五五〇〇	
第五項 神饌常帛料		三六二〇〇	三六二〇〇		
第六項 神饌常帛料		四〇〇〇〇	四〇〇〇〇		
第七項 神饌常帛料		八五〇〇〇	八五〇〇〇		
第八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第二十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第三十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第四十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第五十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第六十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第七十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第八十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十一項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十二項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十三項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十四項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十五項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十六項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十七項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十八項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第九十九項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
第一百項 神饌常帛料		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇		
前年ノ例ニヨル					
増加ノ見込					
前年ノ例ニヨル					

[illegible]

附記

一 收入第一款及第二款ハ各別ニ帳ヲ理スルコト
二 同第二款氏子醵出金ハ恒例ニヨリ九月ノ氏子總代会ニ於テ
大祭細目豫以昇殿定ニヨリ變更スルコトアルベシ

科

目

年

年

年

年

年

年

年

年

年

第一節 費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

第一節 祭典費

二一九〇〇〇

二八〇〇〇

三〇〇〇

一四〇〇〇

三五〇〇〇

五〇〇〇〇

二八〇〇〇

九九九〇〇

三二〇〇〇

四六八〇〇

二〇〇〇〇

三二〇〇〇

一八〇〇〇

二七三〇〇

二八〇〇〇

三〇〇〇

一四〇〇〇

三五〇〇〇

五〇〇〇〇

二八〇〇〇

九三六〇〇

三〇〇〇〇

四三八〇〇

一九八〇〇

三二〇〇〇

一八〇〇〇

二六八〇〇

二八〇〇〇

三〇〇〇

一四〇〇〇

三五〇〇〇

五〇〇〇〇

二八〇〇〇

九三六〇〇

三〇〇〇〇

四三八〇〇

一九八〇〇

三二〇〇〇

一八〇〇〇

二六八〇〇

二八〇〇〇

三〇〇〇

一四〇〇〇

三五〇〇〇

五〇〇〇〇

二八〇〇〇

九三六〇〇

三〇〇〇〇

四三八〇〇

一九八〇〇

三二〇〇〇

一八〇〇〇

二六八〇〇

二八〇〇〇

三〇〇〇

一四〇〇〇

三五〇〇〇

五〇〇〇〇

二八〇〇〇

九三六〇〇

三〇〇〇〇

四三八〇〇

一九八〇〇

三二〇〇〇

一八〇〇〇

二六八〇〇

二八〇〇〇

三〇〇〇

一四〇〇〇

三五〇〇〇

五〇〇〇〇

二八〇〇〇

九三六〇〇

三〇〇〇〇

四三八〇〇

一九八〇〇

三二〇〇〇

一八〇〇〇

第一項 本社 六條 井原

第二項 攝社 天満宮 大祭 其日

第三項 攝社 稻荷社 天竺寺

嘉興攝社八幡宮大経書

第五項 本社大祭典

華大礦業

第七項 制 備 基 礎 設 施

第八項 神職氏子 役員等慰問費

附記
一收入支出共計二款

式出第一節、無頭年二月、型録、信條、又第三、第七、重信、高野、合、不、
不足、湯合、欲、氏子、總代、會、決議、ヨリ、神社、補充スルコトヲ得、
一、出、案、之、重、第一、湯、本、社、大、祭、其、内、詳、細、目、務、此、昇、一、時、保、留、し、九、月、中、氏、子、總、
代、會、於、此、決、定、ス、ル、コト、但、第二、三、四、五、項、各、場、社、大、祭、其、内、詳、細、目、務、
一、得、本、會、於、此、決、定、ス、ル、事、
以上、

$$\frac{1}{2}$$

昭和十年度末京城神社各種資金明細書

御下賜金

一金八百八圓六拾壹錢也

銀行預金

二、基本金

一金四千六百拾參圓六拾四錢也

銀行預金

三、用途指定寄附金

一金壹仟六百八拾壹圓七拾壹錢也

金壹千四百貳拾壹圓七拾壹錢也 銀行預金

金式百六拾圖也

勸業債券

合計金七千壹百參圓九拾六錢也

(山口納)

自昭和八年三ヶ年間京城神社歳入歳出決算
至昭和十年

科 目

第一款 神社諸收入

第二項
神領幣帛料

第一目
神領幣帛料

第三項
社入金

第一目
寄附物收入
其他收入

第二節
神領幣帛料
第三節
寄附金
第四節
結核式料

八年度決算	九年度決算	十年度決算
元五七二・一八	三三・二二八	三六・四四九
二二・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇
二二・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇
元五五・一八	二五・三八・八五	二七・二五一
五五・五三七	八三・三二・〇一	八・三三・一六
五五・〇四	六六・一四	六三・二五五
六三・〇六六	七九・一六四	七三・八八六
五五・二四二	三七・五七九	三九・二四一
三八・一九・〇	四七・七三・〇	四八・四三・〇

備考

第二項 氏子職出金				第三項 利餘金受入				第四項 出張祭				第五項 神祇料				第六項 國給神印料				第七項 燈明料				第八項 諸雜費料			
第一節 氏子職出金				第一節 利餘金受入				第一節 出張祭				第一節 神祇料				第一節 國給神印料				第一節 燈明料				第一節 諸雜費料			
八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七
八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七
八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七	八七二八五	九六二五九	一〇九八七	一〇九八七

(山口納)

第二項 利餘金受入				第三項 氏子職出金				合計			
七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇
七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇
七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇
七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇	七二五七五	八二〇九〇	九五五五〇	九五五五〇

歳出之部

第一項 神社費				第二項 祭典費				第三項 雜費			
八年度決算	九年度決算	十年度決算	十一年度決算	八年度決算	九年度決算	十年度決算	十一年度決算	八年度決算	九年度決算	十年度決算	十一年度決算
九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇
九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇
九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇	九五五五〇

備考

第二日 俸給			第三日 雜給		
神領費	一三五九三	四一七〇〇	第一節 住宅手當	七二六〇〇	六二四〇〇
第三節 謝儀費	一四二五〇	五一三二六	第二節 伙食手當	一五〇〇〇	一七七五〇
第四節 雜用費	四四三八八	五九〇九八	第三節 賃賃手當	一五〇〇〇	一五九七〇
第五節 傭人料	二七一〇〇	二五八五〇	第四節 賞典	一〇一二〇	一五九七〇
第一節 社司俸給	九三六〇〇	九一四七六	第一節 社司俸給	五〇〇〇〇	五二四〇〇
第二節 社掌俸給	四三八〇〇	三六〇〇〇	第二節 社掌俸給	四三八〇〇	四〇四六五
第三節 雇員俸給	一九八〇〇	六三〇七八	第三節 雇員俸給	一九八〇〇	四〇四六五
	五〇二二六	五三一大五		三九一四一	三九一四一
	九六八八七	九六八八七		六七三〇〇	六七三〇〇
	一九八五〇	一九八五〇		一七七五〇	一七七五〇
	八三三二八	八三三二八			
	五五二二六	五五二二六			
	一六二六七	一六二六七			

(山口納)

第四日 片費

第四節 使丁給	五三七七一	四三八四五	第五節 傭人料	三六二〇六	四四〇八二
第一節 備品費	九一九五	五四八六五	第一節 備品費	九一九五	五四八六五
第二節 文具費	二八八六	四一〇三	第二節 文具費	二八八六	四一〇三
第三節 圖書及印刷費	三〇九二一	六四一五〇	第三節 圖書及印刷費	三〇九二一	六四一五〇
第四節 神祇調製費	二二七六二	二七三六一	第四節 神祇調製費	二二七六二	二七三六一
第五節 消耗品費	三八八六五	四九五〇一	第五節 消耗品費	三八八六五	四九五〇一
第六節 点燈費	四七七八一	五三六〇一	第六節 点燈費	四七七八一	五三六〇一
第七節 通信費	三九三四〇	四三〇一六	第七節 通信費	三九三四〇	四三〇一六
第八節 集會費	一八五〇〇	一〇一四〇	第八節 集會費	一八五〇〇	一〇一四〇
第九節 贈費	五二七五五	四九三七二	第九節 贈費	五二七五五	四九三七二
	五四九〇〇	五四九〇〇		二二八六〇	二二八六〇
	九七〇一三	九七〇一三		四八八〇	四八八〇
	五四八六五	五四八六五		一九三六六	一九三六六
	六四一五〇	六四一五〇		六四一五〇	六四一五〇
	二七三六一	二七三六一		二四九一二	二四九一二
	四九五〇一	四九五〇一		六四一五〇	六四一五〇
	五三六〇一	五三六〇一		五二一五〇	五二一五〇
	四三〇一六	四三〇一六		四八八〇	四八八〇
	一〇一四〇	一〇一四〇		一八九一〇	一八九一〇
	四九三七二	四九三七二		四七八六四	四七八六四

「京城神社」

(山口納)

自昭和八年三月年間 京城神社 歳出 氏子費決算内譯書
至昭和十年

科目

第二款 氏子費

第一項
本社大費費

第一目
祭典費

第二目
調度費

第一節 祭典費
第二節 神饌費
第三節 供物費
第四節 器具費
第五節 雜用費
第一節 調度費

八年度決算	九年度決算	十年度決算
八二七・二四	九五九・五五	
五九三・九七	六四三・六八	六五九・七五
三五一・一三	四二五・六三	三八二・五六
二八〇・〇	二七〇・〇	二九〇・〇
七五七・二	八九三・二	二八三・三
三六七・五	五九〇・三	六二〇・一
一四三・六三	五八・一八	六八二・〇
六八・二	一一〇・二〇	一五三・三
一五八・〇	一四八・〇	一三六・七八
九四七・五〇	一〇九七・二	八八五・三八

備考

第三日
行刊費

第四日
御旅所費

第二節 朝野行刊費	二六六・五五	二二二・五一	二二七・〇七
第三節 修理費	五五四・二七	一五七・八二	二五七・四五
第一節 伶人費	一五六・一六六	六・二二五	二二二・七五
第二節 稚兒費	四九・〇	四九・〇	四九・〇
第三節 雇人費	九四・〇	一八・〇	四八六・九九
第四節 人夫費	五九・七	三七五・二〇	四三三・九
第五節 牛馬車費	四三三・三	四三八・八	四二二・二
第六節 賄費	三・五	二五五・五	二六・五
第七節 御旅所宿費	六一八・	八六・七四	一・八二
第八節 雜費	三三七・八六	二三五・二一	二八九・〇二
御旅所費	二四八・〇	二四八・〇	二四八・〇

(山口納)

第五日
余興費

第六日
雜給

第一節 設備費	一五・〇	一五・〇	一五・〇
第二節 点燈費	二二・〇	二二・〇	二二・〇
第三節 余興費	六・〇	六・〇	六・〇
第四節 雜費	一六・〇	一六・〇	一六・〇
第一節 角力費	一六三・〇	一五・〇	一五・〇
第二節 端藝費	九・〇	七・〇	七・〇
第三節 雜費	一三・〇	一	一
第一節 被服手當	五・五	五二二・二	五六二・五五
第二節 臨時雇手當	三四・〇	三四五・〇	三九・〇
第三節 人夫費	八・〇	八・〇	九四・五
雜給	八・三五	八七・二	七八・〇五

成
申
上

第七目
社務所費

第一節 神佛神費	一五九七五	一六四一八五	一七七八一五
第二節 諸用紙費	九一五二	一五五五五	八二九〇
第三節 印刷及文具費	五二八〇	五七二五	四四二〇
第四節 通信費	三六二七九	四一〇六九	三九四一五五
第五節 集會費	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
第六節 接待費	一二五四〇	一五一四〇	八八一五
第七節 贈費	二四三〇	二六八四二	四一六二二
第八節 車馬費	五五七五	七六二五	四四五〇
第九節 点燈費	一〇八〇二	九三八五	九〇五五
第十節 借入金利子	—	三一〇〇	二四七〇
第十一節 雜費	四五二四五	三四一四	五五四六

(山口納)

第三項
天満宮天香費

第八目
豫備費

第一節
豫備費

第一目
祭典費

第一節
神饌幣帛費
第二節
供物費
第三節
雜用費
第四節
伶人費

第二目
天満宮費

第一節
兒童獎勵費
第二節
諸費

第三目
學費費

第一節 神饌幣帛費	六五〇〇	六九九六四	九四九七六
第二節 供物費	一〇一四四	一二五三五	一二六六六
第三節 雜用費	三八三八	三九七一	五二七四
第四節 伶人費	三四二一	三六三六	四四〇七
第五節 兒童獎勵費	一五三五	二四二八	一七三五
第六節 諸費	一三五〇	一五〇〇	一二〇〇
第七節 天満宮費	一三四八五	一四〇二六	二四三五八
第八節 學費費	一五五五	二八七六	二〇三八八
第九節 學費費	一九二〇	二二五〇	三九七〇
第十節 學費費	四七七二	三九三三	七一七〇

第四目 余興費		第五目 諸費	
第一節 寫字費	四七七一	第一節 神祇調製費	二二六七
第二節 角力費	三〇〇〇	第二節 宣傳費	一八二〇
第三節 諸藝費	五〇〇〇	第三節 通信及印刷費	九六〇
第四節 設備費	一〇二九九	第四節 點燈費	八一五一
	三〇〇〇	第五節 賄賂費	八一四五
	五〇〇〇	第六節 雜費	七二五七
	二二三九		
	二二三三		
	一九七六		
	二五〇八		
	四三〇		
	二五五五		
	一九五〇		
	二七四九七		
	四三四〇		
	五〇〇〇		
	三〇〇〇		
	二二三四〇		
	七二七〇		

(山口納)

第六目 張備費		第七目 第一日 餐費		第八目 金典費		第九目 諸費	
第一節 神祇調製費	六四九四二	第一節 神祇調製費	四四九七	第一節 神祇調製費	二八五五	第一節 神祇調製費	二九九六八
第二節 宣傳費	一三一一九	第二節 供物費	四四九七	第二節 供物費	八五〇〇	第二節 供物費	一三三三三
第三節 通信及印刷費	三三三四	第三節 雜用費	三三三四	第三節 雜用費	一三五〇	第三節 雜用費	二二五五
第四節 點燈費	四〇九三	第四節 伶人費	四〇九三	第四節 伶人費	二二九〇八	第四節 伶人費	二二五五三
第五節 賄賂費	一八〇〇		一八〇〇		八五〇〇		八五〇〇
第六節 雜費	一三五七五		一三五七五		二二五五三		二二五五三
	九四八八〇		九四八八〇		二二五五三		二二五五三
	七〇〇〇		七〇〇〇		二二五五三		二二五五三
	一三四二五		一三四二五		二二五五三		二二五五三
	四四九七		四四九七		二二五五三		二二五五三
	五二六八		五二六八		二二五五三		二二五五三
	八四七		八四七		二二五五三		二二五五三
	三五六〇		三五六〇		二二五五三		二二五五三
	一八〇〇		一八〇〇		二二五五三		二二五五三
	二二五五三		二二五五三		二二五五三		二二五五三
	八五〇〇		八五〇〇		二二五五三		二二五五三
	二二五五三		二二五五三		二二五五三		二二五五三
	六九九五二		六九九五二		二二五五三		二二五五三
	四八三〇		四八三〇		二二五五三		二二五五三

東京市立公文書館

第四項 八幡宮大祭費									
第四日 稲荷講費					第一日 祭典費				
第一節 稲荷講費	第二節 神領費	第三節 供物費	第一節 稲荷講費	第二節 神領費	第三節 供物費	第一節 稲荷講費	第二節 神領費	第三節 供物費	第四節 稲荷講費
一九六・	二二二・	五二六・	八七四・	一一〇・	八四・	六四九・	一二三・	四六二・	三三三・
二五・	一一四・	五三三・	九六五・	一一一・	二九・	七〇・	一二三・	四二・	二九・
二二九・	六〇八・	五九一・	一三七・	七七・	三四六・	九二九・	二四一・	四三・	四四七・

(山口納)

第三日 諸費									
第一節 稲荷講費					第二節 神領費				
第一節 稲荷講費	第二節 神領費	第三節 供物費	第一節 稲荷講費	第二節 神領費	第三節 供物費	第一節 稲荷講費	第二節 神領費	第三節 供物費	第四節 稲荷講費
二九六・	二二二・	五二六・	八七四・	一一〇・	八四・	六四九・	一二三・	四六二・	三三三・
二五・	一一四・	五三三・	九六五・	一一一・	二九・	七〇・	一二三・	四二・	二九・
二二九・	六〇八・	五九一・	一三七・	七七・	三四六・	九二九・	二四一・	四三・	四四七・

山口納

第五項 乃不社大費		第四目 神人補助		第五目 豫備費		第一目 祭典費		第二節 神領帶費		第三節 供物費		第四節 雜用費		第五節 伶人費		第六節 式場設備費	
九八二三		六二三五		三九七・九		二〇〇・〇		二五・六四		四七・六七		六九・八三		一五・〇		一六・〇	
四四八・〇		三九七・九		九四九・一七		二〇〇・〇		五〇・四		四七・六七		六九・八三		一五・〇		一六・〇	
四八七・〇		三九七・九		九四九・一七		二〇〇・〇		五〇・四		四七・六七		六九・八三		一五・〇		一六・〇	

(山口納)

第二日 余興費		第三日 諸費		第一節 神領帶費		第二節 供物費		第三節 雜用費		第四節 伶人費		第五節 式場設備費		第六節 式場設備費		第七節 式場設備費	
五三・〇		四七・六七		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇	
一三二・七七		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇	
四七・六七		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇		二〇〇・〇	

第四目 修理費	第三目 修繕費	第七項 警備費	第八項 神職石慰念金	合計
一五三〇	一五三〇	三七五九	三〇〇〇	八二七一
			三〇〇〇	二四九五五五
			三〇〇〇	五七三八七
			三〇〇〇	一六九四〇四

山口納

京城神社境内及建設物概況

一、境内 別紙京城神社境内圖、通り

壹萬〇七百參拾坪

國有林野

外二飛地御旅所敷地七百九拾坪國有鐵道地

一、建設物

一、本社

名稱	構造	坪數
殿	銅板葺	六坪五合
殿	銅板葺	六坪
殿	銅板葺	二十三坪三合三勺

京 殿 申 士

三攝社
八幡宮

宿衛	中門	龍山御旅所	倉庫	寶庫	社務所	參集所	手水舎	神饌所
瓦葺	銅板葺	銅板葺	瓦葺	瓦葺	瓦葺	瓦葺	瓦葺	銅板葺
平家建		二階建	倉庫造	入母屋造	切妻造	四足造	切妻造	
十一坪	柱間一間半	一坪二合五勺	二十四坪	十三坪五合	延百三十六坪八合	二十四坪	二坪	四坪

(山日鏡)

天満宮

手水舎	拜殿	幣殿	本殿
銅板葺	銅板葺	銅板葺	銅板葺
入母屋造	切妻造	切妻造	流造
柱間五尺六寸	七坪九合七勺	三坪二合一勺	一坪二合五勺

神符授與所	手水舎	幣殿及拜殿	本殿
瓦葺	瓦葺	瓦葺	瓦葺
平家建	四足造	入母屋造	流造
六坪	一坪二合五勺	十五坪一合三勺	一坪六合三勺

稻荷社

乃水社

本	廻	拜	手水舎	神符授與所
殿	廊	殿	殿	
柿葺	板葺	銅板葺	板葺	板葺
流造		入母屋造	切妻造	平家造
二合五勺	十四坪	七坪七合	柱間五尺	一坪半
銅板葺	銅板葺	銅板葺	銅板葺	瓦葺
春日造	切妻造	切妻造	切妻造	切妻造
二坪二合七勺	一坪三合九勺	七坪五合八勺	十三坪一合五勺	七坪五合
幣	拜	廻	祭器	

(山口納)

手水舎

銅板葺

九合五勺

このコマには 図面
表等がありますから下
記の原本をみてください。

請求番号

ZA12 ④ 2001

京城神社全境内俯瞰



京城神社表参道



121

京城神社

本社御神殿側面



本社正面



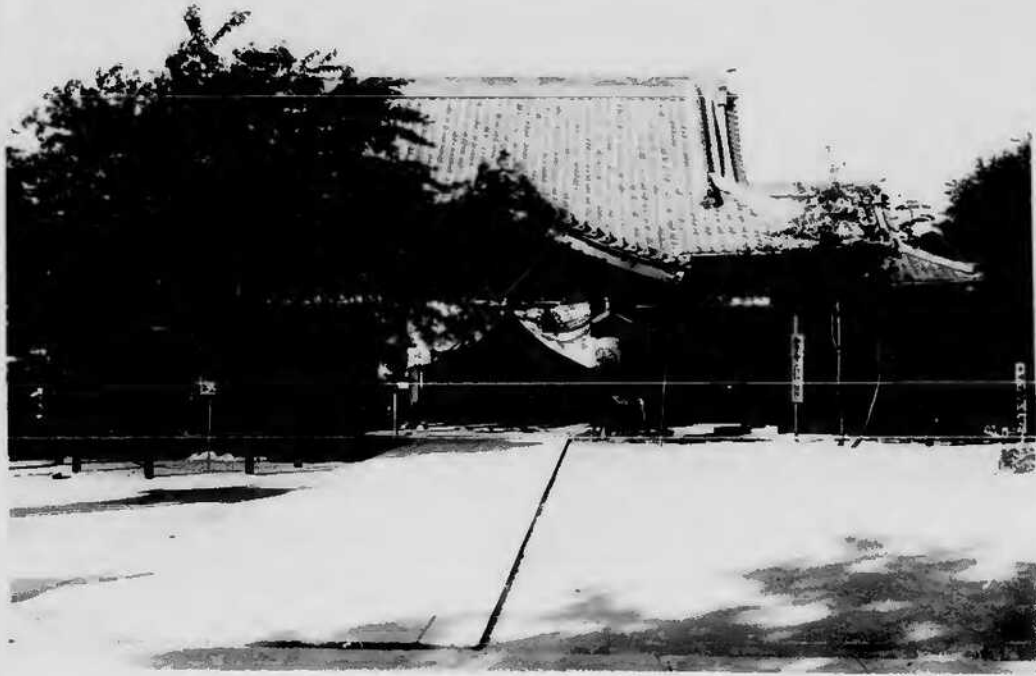
本社御神殿及拜殿背面



本社側面及神饌所



社務所正面



本社及參集所側面(右、寶庫)



攝社天満宮表參道



寶庫正面



景全社荷綿社撰



面正社水乃社撰



京城神社奉賛會設立趣意并希望

京城南山禁伐の淨地を卜して、明治三十一年十月三日、天長の佳節を以て御創立相成りし京城神社は、年と共に神威赫々と光輝を放ち給へば、日に月に崇敬者激増し行きて、社頭益々殷盛に赴くを以て、大正十五年に至り遂に造営の大事業に着手したりき。

是れ京城府一圓を氏子として鎮祭し奉れる産土神としては、社殿を始めて総べての施設餘りにも狹隘且つ不完全なりしを以てなり。甬来幾多の曲折を経て昭和四年九月二十五日現在の社殿を完成し、同時に國魂神及び大己貴神少彦名神三座三神を増祀し奉りしが、其總計費は實に二十數万圓に及び、當時京城府民の財務状態をすれば、凡そは失敗に終らむことを危まれたる状況なりしも、誠心誠意奉仕を捧げずば如何なる難事も打破せらる

べしとの意氣に燃えて、遂に造營事業に一路邁進せしが、是れぞ全
く氏子府民の大英断にして又景仰奉賽の顯現に依る所ならずん
ばあるべからず。

然れば、上に鴻大なる神威の光被し給ひし事は勿論なれども、下に
崇敬者總代其他幹部役員の實に涙ぐましく熱誠と氏子全般の
協力奉賛とありて、産土神地の移轉境内擴張の實を夢ぢ得
たる事、たゞに京城のみならず朝鮮神祇道のたゞにも誠に慶祝
に堪へざりし所ならず。

然りと雖も、劃期的大事業の發端たる大正十五年よりは既に十有幾
年を経過し、星變けり時移ろひにければ、造營當時に於いて善しと考
へ、百年の計を樹て得たりと信じたりし事も、今日にして思へば時代に
副はぬもの、不便を感じずるもの等幾多を算し、速に整備の要を

(山口納)

考へらるゝもの一二にあらず。時世の進運と共に賽者踵を接ぎ、殊には
團體参拜益々盛に行はるゝに鑑みても、境内の擴張は先づ第一に叫ば
るゝところ、自動車道の建設に奉賛殿の新建に、世相の変遷と共に
其の改善の急を告ぐるもの少からず。諺に十年一昔と云ひける如く、十
年の歲月は非常なる膨脹を齎し、京城府の人口は急速度に激増して、
經濟亦昂揚を来し、隣接邑面亦府内發展の勢に正比例して、破竹の
勢を以て隆昌となりし結果は、今年四月一日府政の擴張となりて一邑
ハケ面の廣汎なる疆域は京城府に編入の結果を招来せり。今や京
城府は全く面目を一新して、其の面積に於いて、其の人口に於いて、其の
財政に於いて舊觀を脱し、一躍過去の何倍かの擴張を見るに至りぬ。
斯く府政の昂進し行くにつきて神社の現状を顧みれば、新興大都市と
して躍進の途上にある大京城として、其の氏神の境内狹隘、施設不完全

は、府民崇敬の鎮守の社としてふさげしかうず、近時國體明徴心田開發の絶叫せらるる今日、先づ氏神神域の完成整備を期して、無言の裡に敬神の俗を培ひ、神恩報賽の實を崇めしめ、總督府提唱の大精神を發揚せむこと目下の急務なり。

されば峻しき所は平けく狭き所は廣く是らばぬ所は補ひ無きものは増設新建して、愈々益々完成の域に猛進せんとう。然も躍進朝鮮の状況や天聽に達しけむ、國幣社に御列格の儀を仰せ出ださせ給ふ破格の御内意ありやに洩れ承るを畏き。かくあれば一には優渥なる。聖旨に對へ奉るべく、一には無邊の神恩に報賽の誠を捧げんがため、茲に奉賛會を設立して淨財を募り、千載の後悔いなき施工を費し、神嚴の氣を映發せむとす。此の事たる、過般崇敬者總代十名參集の上先づ是れを決議し、更に第二次

(山日誌)

的の決議を経て、發表の機に達せん希望なり。

昭和十一年六月四日

一 龍 頭 神 社



(山口 納)

神社明細帳

釜山府辨天町二丁目龍頭山鎮座

龍 頭 山 神 社

一 祭 神

祭神 天照大神 一座

國魂大神 一座

大物主神

素戔嗚神

表筒男命

中筒男命

底筒男命

急長等神

八幡大神

一 由 緒

舊記詳ナラザルモ社ノ創建ハ遠ク慶長年間對馬ノ領主宗義智公カ日韓修交ニ當リ和館ヲ釜山鎮ニ設置シ後延寶六年我カ居留地ヲ草梁頂（今ノ釜山港）ニ移セシ當時乃チ今ヲ距ル約二百五十餘年前延寶六年三月ノ時義貞公龍頭山景勝地四萬坪ヲトシテ金刀神社ヲ移シ大物主神ヲ奉齋セルニ始ル後明和二年七月住吉大神並ニ天滿天神ヲ合祀シテ表簡男命中簡男命底簡男命皆原道眞公ヲ奉齋シ次デ慶應元年二月天照皇大神ヲ明治十三年八月十五日八幡大神ヲ各合祀シ 次デ明治十七年十月居留民一同相謀リテ龍頭山神社境内ニ二間四方ノ弘國大神遙拜所ヲ建設シ宗義智公ノ偉蹟ヲ敬仰シ毎年十月三日遙拜式ヲ執行シ來リタルヲ明治二十九年四月一日神靈ヲ奉ジテ之ヲ合祀シ 次デ明治三十二年四月二十三

日素戔嗚尊 神功皇后豐臣秀吉公ヲ居留民ノ議ニ依リ各合祀シ以テ今日ニ至ル而シテ社ハ當初金刀比羅神社ト稱シ往古ニ於テハ主トシテ對馬ノ領主宗家ニテ維持シタリシカ後居留民總代役場ハ敬神會ト共ニ其ノ維持經營並ニ祭祀ノ事ヲ司リ明治十二年九月居留民ノ宗門二千餘圓ヲ以テ社殿ヲ改築シ同三十二年五月寄附金八千餘圓居留地費補助金二千圓計金壹萬餘圓ヲ以テ社殿改築一方神社ノ維持ニ付テハ明治四十二年夏以降大正二年迄居留民團ヨリ毎年金壹千圓内外ノ供進アリ後釜山府廳ヨリ毎年金七百圓ノ供進ヲ受ケ維持シ來レルガ今ヤ釜山府ノ膨脹ニ伴ヒ社入金モ激増シ毎歲壹萬四五千圓ヲ下ラス維持確立スルニ至レリ而シテ昭和三年三月御嶺座二百五十年祭ニ當リ金參萬五千餘圓ヲ投ジテ境内整建建築物ノ造改修ヲ行ヒ社頭ノ面目ヲ一新シタリ 鎮座ノ由來敘上ノ如クニシテ朝鮮ニ於ケル神社トシテハ其ノ創立最モ

古ク明治四十一年九月全國神職會ハ

「釜山龍頭山神社ハ現今韓國ニ於ケル神社中最古ノ神社ニシテ社殿及
境内等亦他ニ比類無キヲ以テ相當ノ社格ヲ定メラルベキヲ至當トス」
ト決議シ其ノ結果時ノ統監伊藤博文公ニ官幣大社ニ御昇格ノ事ヲ稟申
引續キ大正元年再ビ御昇格ノ事ヲ朝鮮總督寺内正毅伯ニ懇請スル所ア
リシカ大正六年七月十日朝鮮ニ於ケル神社規則ノ發布ニ伴ヒ神社トシ
テ公認セラレタルモ未ダ社格附與ノ場合ニ至ラズ今日ニ至レリ

一 例 祭

春季祭 四月一日二日三日

秋季祭 十月十五日十六日十七日

社殿並ニ附屬建物

本殿 十二坪二 拜殿 十九坪四 幣殿 九坪 神樂殿 三十一坪五

一 本舎 一坪 事務所 六十八坪八八 神庫 六坪

一 境 内

壹千百五拾七坪一合

一 氏 子

貳萬七千五百拾八戸内（内地人 九千八百四十三戸
朝鮮人 壹萬七千六百七十五戸）

一 境内神社

稻荷社

祭神 倉稻魂神 猿田彦神 大宮女神

宮島社

祭神 市杵島姬命

龍尾山社

祭神 武内宿禰公 加藤清正公 朝日奈三郎義秀公

豐臣秀吉公 菅原道真公 宗義智公

（同三十一）

龍頭山神社昭和十年度歳入出豫算

経常部

科

第一款 諸

収入

前年度 前年度 増減 備考

考

第一項 社入金

第一項 社入金

第一項 社入金

第二項 社入金

第三項 社入金

第四項 社入金

第五項 社入金

第六項 社入金

第七項 社入金

第八項 社入金

第九項 社入金

第十項 社入金

第十一项 社入金

第十二项 社入金

第十三项 社入金

[illegible]

經部		歲出部		科目		本年支前年度算增減備考	
第一款	社費	一二六〇〇	一〇五三五〇	一三二五〇〇			
第二項	祭典費	二七四九〇	二六九九〇	五〇〇			
第一項	祭典費	二七四九〇	二六九九〇	五〇〇			
第二項	大祭費	一八〇〇〇	一八〇〇〇				
第三項	由祭費	二二二〇〇	二二二〇〇				
第四項	小祭費	三〇七〇〇	二〇一〇〇				
第五項	送拜費	二〇〇〇	二〇〇〇				
第六項	大校費	四〇〇〇	三五〇〇	五〇〇			
第七項	祭費	三八五〇〇	三二二〇〇	一三〇〇〇			
第八項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第九項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十一項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十二項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十三項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十四項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十五項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十六項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十七項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十八項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第十九項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			
第二十項	雜費	一〇九五〇	八〇五七〇	二八九三〇			

某項應費

某項補助費

第三節 借入金

五五五〇〇	三三五〇〇	二九九三〇
三三二六〇〇	二七六〇三〇	五五五五〇
一九四九五〇	一八一九八〇	一二九七〇

第四節 補助費

第五節 補助費

第六節 補助費

第七節 補助費

第八節 補助費

第九節 補助費

第十節 補助費

第十一節 補助費

第十二節 補助費

第十三節 補助費

第十四節 補助費

第十五節 補助費

第十六節 補助費

第十七節 補助費

第十八節 補助費

第十九節 補助費

第二十節 補助費

第二十一節 補助費

第二十二節 補助費

第二十三節 補助費

第二十四節 補助費

第二十五節 補助費

第二十六節 補助費

第二十七節 補助費

第二十八節 補助費

第二十九節 補助費

第三十節 補助費

痕
時
部

御神庫並祭器庫建於其間

表六三 道橋張工事其具

整地 耕田

臨時計

會計

前年立分 二个村
鄉社 存連 梁其勇

[illegible]

五
C
C
C
C

六. 五
C
C
C
C

[illegible]

١٠٠

F

五九〇〇〇〇

龍頭山神社基本財産調査書（昭和十二年三月三十一日現在）

種類	区分	数量	金額	摘要
現金			五、二六六	第一銀行五谷山郵便局、預入
有価証券		五〇〇	五〇〇	五分利公債証券
土地	田	八六九	二六〇七〇	
計			五、五二七	

昭和八、九十年龍頭山神社歳入出收支決算比較表

歳入 経部 算部

科目	第一欸諸收入	昭和八年度			昭和九年度			昭和十年度		
		第一項	第二項	第三項	第一項	第二項	第三項	第一項	第二項	第三項
社入金										
第一項										
第二項										
第三項										
第四項										
第五項										
第六項										
第七項										
第八項										
第九項										
第十項										
第十一項										
第十二項										
第十三項										
第十四項										
第十五項										
第十六項										
第十七項										
第十八項										
第十九項										
第二十項										
第二十一項										
第二十二項										
第二十三項										
第二十四項										
第二十五項										
第二十六項										
第二十七項										
第二十八項										
第二十九項										
第三十項										
第三十一項										
第三十二項										
第三十三項										
第三十四項										
第三十五項										
第三十六項										
第三十七項										
第三十八項										
第三十九項										
第四十項										
第四十一項										
第四十二項										
第四十三項										
第四十四項										
第四十五項										
第四十六項										
第四十七項										
第四十八項										
第四十九項										
第五十項										
第五十一項										
第五十二項										
第五十三項										
第五十四項										
第五十五項										
第五十六項										
第五十七項										
第五十八項										
第五十九項										
第六十項										
第六十一項										
第六十二項										
第六十三項										
第六十四項										
第六十五項										
第六十六項										
第六十七項										
第六十八項										
第六十九項										
第七十項										
第七十一項										
第七十二項										
第七十三項										
第七十四項										
第七十五項										
第七十六項										
第七十七項										
第七十八項										
第七十九項										
第八十項										
第八十一項										
第八十二項										
第八十三項										
第八十四項										
第八十五項										
第八十六項										
第八十七項										
第八十八項										
第八十九項										
第九十項										
第九十一項										
第九十二項										
第九十三項										
第九十四項										
第九十五項										
第九十六項										
第九十七項										
第九十八項										
第九十九項										
第一百項										

[illegible][illegible]

第四節 神義料	第五節 外勤初穂料	第六節 龍尾山社金	第七節 雜收入	第八節 預金利息	第九節 雜收入	第十節 節分會收入	第十一節 森廣稲穂料	第十二節 第三項 繰越金	第十三節 第四項 繰越金	第十四節 第五項 繰越金
七〇〇〇〇	一二〇〇〇	五〇〇〇〇	六七五〇〇	二五〇〇〇	五〇〇〇〇	六〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一四九〇〇	四三〇〇〇	
六七五三〇	一六二四四	六七二九三	八四二五九	一五六三三	一一八三四	五六八〇二	九一五三五	一四九〇〇	四三三二〇	
	四四四	七二九三	一六七五九	一三一三三	六八三四		六五三五		三三〇〇	
二四七〇					三一九八					
理算者ノケテ レニ依ル	外勤度教多 クニ依ル	奉養者多 クニ依ル		預金額多 クニ依ル	神印料多 クニ依ル	奉養者多 クニ依ル	理算者激増 セニ依ル			

第二項 貨地料	第三項 貨地料	第四項 貨地料	第五項 貨地料	第六項 貨地料	第七項 貨地料	第八項 貨地料	第九項 貨地料	第十項 貨地料	第十一項 貨地料	第十二項 貨地料
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇

臨時部

[illegible]

整地費	五〇〇〇	五五五五	四五五	
社頭設備基金補立		一五〇〇〇	五〇〇〇	
臨時費		四二三五	四二五	
臨時部小計	八〇三二九八	四三八一三五	六四九〇	四二六五五
合計	三八九二九八	六三六九九		五五五五九

收支差引残額七千六百五拾四圓參拾八錢

昭和九年度龍頭山神社歳入出收支計算書

歳入之部

科	目	豫算額		決算額		増	比	減	備考
		額	円	額	円	額	率	額	
第一款 諸收入	第項 神饌料	100	00	100	00				
	第項 神饌料	746	00	879	20	133	18		
	第項 神饌料	671	00	753	00	82	12		
	第項 神饌料	60	00	83	00	23	38		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
第二款 諸收入	第項 神饌料	230	00	253	80	23	10		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
第三款 諸收入	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
第四款 諸收入	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
第五款 諸收入	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		
	第項 神饌料	220	00	274	00	54	24		

[illegible]

Ⓢ

[illegible]

第四節 雜支出	第三節 旅費	第二節 境内諸費	第一節 苗木費	第一節 肥料費	第一節 備人料	第一節 通信費	第一節 神職料	第一節 電話及諸稅	第一節 建物保險料	第一節 雜費
六三、五〇	三〇、〇〇	二〇、〇〇	五〇、〇〇	一〇〇、〇〇	二八、〇〇	六〇、〇〇	二〇、〇〇	二九、五〇	一〇五、〇〇	二九、九〇
六六、八〇	一四二、一七	三三、四〇	四、五四	三〇、〇〇	二〇、〇〇	二七、二六	二〇、〇〇	二〇、〇〇	四、九六	三〇、一〇
四五、五八	七五、八三	一〇〇、〇〇	五〇、〇〇	二〇、〇〇	三〇、〇〇	三三、四四	三〇、一〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇

第五項 第五節 會議費	第五項 第五節 寄贈金	第五項 第五節 舍宅料	第五項 第五節 宿直料	第五項 第五節 節分金	第五項 第五節 節分金	第六項 第五節 節分金	第七項 第五節 節分金	第八項 第五節 節分金	第九項 第五節 節分金	第十項 第五節 節分金
一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一八二、五〇	一八二、五〇	二四〇、〇〇	二四〇、〇〇	五〇〇、〇〇	一五〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
一一〇、二五	九一、八〇	一八二、五〇	一八二、五〇	二八三、六三	二八三、六三	三七四、二〇	一三九、七三	四二、五〇	四二、五〇	四二、五〇
一〇、二五	一〇、二五	一〇、二五	一〇、二五	四三、六三	四三、六三	一三、五八	二〇、三七	五七、五〇	五七、五〇	五七、五〇

第三款	指定寄附				
第四款	借入金	一三五、〇〇〇	一三七五、〇〇		
第五款	退職給付基金	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇		
第六款	御神庫建築費	二〇〇、〇〇〇		二〇〇、〇〇〇	
合計		四四一、〇〇〇	四八五、〇〇〇	三、五九二	

昭和八年龍頭山神社歳入出收支計算書

歳入部

科	目	豫算額	決算額	増減	備考
第一款	諸收入	一六九七、〇〇〇	一六四七、七七	五〇三、三三	
第二項	神護幣料	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇		
第三項	社入金	八〇二、〇〇〇	七五二、六七	五〇三、三三	
第四項	第目 賽銭其他	七三三、〇〇〇	六七八、三三	五三、六七	自然増収
第五項	第節 神持振興料	七〇、〇〇〇	五、六七	一三、三三	
第六項	第節 賽銭	二五〇、〇〇〇	二一〇、七八	一四、二二	全
第七項	第節 初穂祈禱料	二四五、〇〇〇	二三四、三三	一〇、六八	全 (八羅二五五)

第五項 借入金	第六項 寄附金	第七項 地料	合計	第一項 雑収入	第二項 雑収入	第三項 預金利息	第四項 雑収入	第五項 外勤謝儀	第六項 龍虎山社金	第七項 神職料	第八項 自然減收
一三七五、〇〇	三、五〇〇	三〇、〇〇	一七、〇〇〇、〇〇	五〇〇、〇〇	二〇、〇〇	四八〇、〇〇	二〇〇、〇〇	一四〇、〇〇	三五〇、〇〇	八〇〇、〇〇	一三七、元
一三七五、〇〇	三、五〇〇	三〇、〇〇	一七、〇〇〇、〇〇	四七六、六三	二六、四八	八八、三九	二五五、九三	九七五、二〇	六三七、二四	六六三、七一	四二四、九〇
	三五〇〇			八、四			五五、五		六、七、三		三、元
			五五、三三			三九、七二					三、元
						三九、七二					三、元

④ 1

第五項 借入金	第六項 寄附金	第七項 地料	合計	第一項 社費	第二項 社費	第三項 社費	第四項 社費	第五項 社費	第六項 社費	第七項 社費	第八項 社費
一三七五、〇〇	三、五〇〇	三〇、〇〇	一七、〇〇〇、〇〇	一五、五〇、〇〇	四、三二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇
一三七五、〇〇	三、五〇〇	三〇、〇〇	一七、〇〇〇、〇〇	一五、五〇、〇〇	四、三二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇
	三五〇〇			一五、五〇、〇〇	四、三二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇	三、二四、八〇
			五五、三三								

[illegible][illegible]

第貳款	積立金	五〇〇.〇〇	五〇〇.〇〇		
第參款	指定寄附	一、二五〇.〇〇	一、二五〇.〇〇		
合 計		一七〇〇.〇〇	一四九五.三	六、八八	

このコマには図面
表等がありますから下
記の原本をみてください。

請求番号

ZA12 ⑤ 2001





殿拜及殿神礼山頭龍 山釜鮮朝
(神可許家御清) (行義所傍址)



祭全社神山尾龍 山釜鮮朝
(神可許家御清) (山釜鮮朝)



龍頭山神社奉贊會會則草案

第一條 本會ハ龍頭山神社奉贊會ト稱ス

第二條 本會ハ本部ヲ慶尚南道廳内ニ置キ支部ヲ慶尚南道各府郡廳

内ニ置ク

第三條 本會ハ龍頭山神社ノ境内地擴張、社殿整備並ニ列格奉祝大祭等ノ事業ヲ翼賛シ益御神德ノ宣揚ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四條 本會ノ經費ハ寄附金及其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第五條 本會ハ本會ノ事業ヲ翼賛シ金品ヲ寄附シタル者ヲ以テ之ヲ組織ス

會員ノ種別左ノ如シ

一 特別名譽會員 金千圓以上寄附シタル者又ハ本會ニ對シ特

別ノ功勞アル者

二 名譽會員 金五百圓以上寄附シタル者

三 特別會員 金百圓以上寄附シタル者

四 正會員 金^十拾圓以上寄附シタル者

五 贊助會員 金^十拾圓未滿寄附シタル者

物品ノ寄附者ハ其ノ評價ニ依リ前項ノ種別ヲ適用ス

第六條 本會員ハ芳名錄ニ登録シテ龍頭山神社ニ保存シ其ノ芳名ヲ

永久ニ傳フルモノトス

第七條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

副會長 三名

顧問 若干名

理事長 一名

常務理事 一名

理事 若干名

評議員 若干名

第八條 支部ニ左ノ役員ヲ置ク

支部長

副支部長 若干名

幹事 若干名

委員 若干名

第九條 本部及支部ニ書記ヲ置ク

第十條 會長ハ慶尙南道知事ヲ推戴ス

本部役員及支部長ハ會長之ヲ囑託ス

支部役員ハ支部長之ヲ囑託ス

書記ハ會長又ハ支部長之ヲ命ズ

第十一條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

第十二條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代

理ス

第十三條 顧問ハ會長ノ諮問ニ應フルモノトス

第十四條 理事長ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第十五條 常務理事ハ上司ノ命ヲ承ケ常務ヲ掌理ス

第十六條 支部長ハ會長ノ命ヲ承ケ支部ノ會務ヲ掌理ス

第十七條 副支部長ハ支部長ヲ補佐シ支部長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十八條 理事及幹事ハ上司ノ命ヲ承ケ會務ヲ分掌ス

第十九條 評議員ハ評議員會ヲ組織シ本會ノ重要事項ヲ議決ス

第二十條 委員ハ支部長ノ命ヲ承ケ其ノ地方ノ會務ヲ掌理ス

第二十一條 書記ハ上司ノ命ヲ承ケ會務ニ從事ス

第二十二條 役員及職員ハ名譽職トス但シ職務ニ依リ費用辨償又ハ手當ヲ支給サルコトヲ得

第二十三條 評議員會ハ會長之ヲ招集シ會長ヲ以テ議長トス

評議員會ノ議決ヲ經ベキ事件ニシテ輕微ナルモノハ書面ヲ以テ評議員ノ意見ヲ聽キ其ノ過半數ノ賛成アルトキハ評議員會ノ議決ト

看做ス

第二十四條 本會ノ經費收支豫算ハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ執行シ其ノ決算ハ評議員會ニ報告スルモノトス

本會ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第二十五條 本會ノ現金ハ郵便局所、金融組合又ハ確實ナル銀行ニ預入ス但シ五^十圓以下ノ現金ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 本會ノ事業完成シタルトキハ建設物其ノ他ノ物件及金錢ハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ龍頭山神社ニ移管スルモノトス

第二十七條 本會ノ事務終了シタルトキハ之ヲ解散スルモノトス

第二十八條 本則ヲ變更セントスルトキハ評議會ノ議決ヲ經ルモノトス

第二十九條 本會則施行ニ關シ必要ナル事項ハ會長別ニ之ヲ定ム

本部役員

會長（一名）知事

副會長（三名）内務部長 府尹 道會副議長

理事長（一名）内務部長

常務理事（一名）地方課長

理事（若干名）學務課長 會計課長 山林課長 警務課長

土木課長 龍頭山神社主任神職 氏子總代長

顧問（若干名）本府内務局長 本府地方課長 内務省神社局技師

道參與官 道警察部長 釜山府尹 鎮海要塞

港部司令官 鎮海灣要塞司令官 釜山憲兵分隊

長 地方法院長 檢事正 稅關長 釜山鐵道事

評議員（若干名）

務所長 刑務所長 朝鮮神宮宮司 釜山遞信分
掌長 釜山日報社長 朝鮮時報社長 南鮮日報
社長 商工會議所會頭 主ナル實業家 主ナル
辯護士
常任氏子總代 特別名譽會員 名譽會員 各府
尹 郡守 警察署長

支部役員

支部長（二十一名） 各府尹郡守
副支部長（四十四名） 各警察署長 地方有力者
幹事（四十四名） 各府內務課長 各郡內務主任 地方有力者
委員（若干名） 邑面長 中等學校長 神社神職 府邑會議

員 面協議會員 學校評議會員 學校組合
管理者 消防組頭 金融組合、水利組合及
產業組合理事 在郷軍人分會長 青年團長
婦人會長 釜山府内 町總代 農村指導委員 其ノ他
有力者

別表第二表

職員調

京城神社

補命年月日	職名	俸給又大手當	任用資格	氏名
大正十四年十月十六日	社掌	月住宅手當 二七〇圓 月住宅手當 二〇〇圓	學階證	市秋弘
大正十一年七月廿一日	・	月住宅手當 一五〇圓 月住宅手當 一二〇圓	皇典講究所神職 教習科卒	小林郷一
昭和五年五月三十一日	・	月住宅手當 九五圓 月住宅手當 一二圓	國學院大學高等 師範部選科卒	大和田五月
昭和七年十月十四日	・	月住宅手當 六五圓 月住宅手當 一二圓	國學院大學神道 部卒	櫻井正夫
昭和十年十月十六日	・	月 五〇圓	皇典講究所神職 教習科卒	堀順治
昭和十年十月十六日	・	月 三〇圓	皇典講究所神職 教習科卒	谷村幸彦
昭和十年十月十六日	(名譽)	・	社司社掌試驗合格 格官國幣社神職 尋常試驗合格	竹下眞美

龍頭山神社

補命年月日	職名	俸給又ハ手當	任用資格氏名
昭和七年九月廿一日	社掌	一三〇圓	神宮皇學館卒 山川鶴市
昭和十年八月廿三日	・	八五圓	皇典講究所神職 教習科卒 今平奇男
昭和九年十月三十日	・	六五圓	學階證一等司業 川江吉夫
缺員			一

寫

招略大臣

地第七二號

昭和十一年五月十一日

朝鮮總督 宇垣一成

內閣總理大臣 廣田弘毅 殿

朝鮮ニ於ケル神社ヲ國幣小社ニ列格ノ件

朝鮮ニ於ケル神社ハ大正八年創立 仰出サレタル官幣大社朝鮮神宮ヲ除クノ外社格ノ定無之候處朝鮮ノ疆域ハ十三道一萬四千餘方里本州ト略面積ヲ同ジクシ民心ノ歸一ヲ圖リ國體觀念ヲ強化スル上ニ於テ相當ノ社格ヲ有スル神社ヲ創立シ祭祀ヲ篤クシ内鮮人一如ノ境地ニ導クコト統治上極メテ緊要事ト存ゼラレ候而シテ各

道ニ一社ヲ創立シ一道住民ノ崇敬ノ中心タラシムルヲ妥當ナリト思料致候處新ニ
 神社ヲ創立スルコトハ容易ナラザルノミナラズ既設神社トノ關係モ有之現在神社
 中其ノ鎮座地、諸設備、社礎其ノ他相當ノ社格ニ列セラルルニ足ルモノニ就キ漸
 次一道一社ヲ限リ列格ノ御銓議ヲ仰ギーハ以テ既設神社ノ神威ヲ顯彰シ他ハ以テ
 未列格神社ノ社礎ヲ鞏固ナラシメ益敬神觀念ノ涵養訓致ニ資スベク差向左記ニ神
 社ヲ選定致候次第ニ有之當該神社地元崇敬者ニ於テハ此ノ計畫ヲ聞知スルヤ感奮
 興起シ社殿ノ改造營ヲ計畫スル等反響大ナルモノアリテ特ニ歴史ヲ異ニスル朝鮮
 人ヲシテ國體觀念ヲ強化セシムルノ效果モ鮮少ナラズト認メラレ候ニ付テハ特ニ
 國幣小社ニ列格ノ義 仰出サレ候様御取計相成度候也

記

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

京畿道京城府倭城臺町鎮座 京城神社

祭神 天照大神

國魂大神

一座

大己貴命

少彥名命

慶尙南道釜山府辨天町鎮座 龍頭山神社

祭神 天照大神

國魂大神

大物主神

表筒男命

一座

中筒男命
底筒男命

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

寫

拜啓益々御清祥ノ段奉賀候

陳者客年九月四日附ヲ以テ朝鮮ノ京城神社及龍頭山神社ヲ官國幣
社ニ列格ノ當否並列格ノ程度ニ關シ神社調查會ニ内議シ回答アリ
タキ旨ノ御照會有之候ニ付去ル客年十二月十七日開催ノ神社調査
會ニ本件ヲ内議致候處別紙原案ノ通決定致候條御了知相成度

昭和十一年一月十七日

内務省 神社局長

拓務省 管理局長 殿

タイプライター用紙半裁

(日本標準規格 B. 5)

拓務省

別紙内協議決定

朝鮮ノ神社ヲ官國幣社ニ昇格ノ件

拓務省ヨリ朝鮮京城府倭城臺南山公園地鎮座京城神社及釜山府辨天
町二丁目龍頭山神社ヲ官國幣社ニ列格セシムルノ當否竝列格セシム
ル場合ニ於ケル社格ニ關シ神社調査會ニ内協議ノ上回答アリタキ旨
ノ照會アルヲ以テ右ハ何レモ國幣小社ヲ適當ト認メラル、コトトシ
テ回答致シ度シ

尙將來朝鮮ニ於ケル此ノ種ノ問題ニ關シテハ大体一道ニ付國幣社一
社ヲ超エサル程度ニ限局スルヲ適當ト思料セラルルヲ以テ爲念此ノ
趣旨ヲ附加致シ度シ

朝鮮ニ於テ國幣社ニ列セラルベキ神社ノ銓衡内規

別紙神社調査會ノ内議ニ基キ朝鮮ニ於テ國幣社ニ列セラルベキ神社ハ大体一道一社トシ

一 特殊ノ場合ヲ除キ道廳所在地ノ神社ニシテ一道民崇敬ノ對象ト爲ルベキモノタルコト

二 神殿拜殿ノ外幣殿神饌所齋館社務所（齋館ト社務所トハ兼用タルヲ妨ケズ）竝ニ附屬設備ヲ具備スルコト

三 一ケ年ノ神社費豫算大体一萬圓ヲ下ラズ相當數ノ神職ヲ置キ得ルコト

四 境内地三千坪ヲ下ラザルコト

以上ノ要件ヲ具備スルモノニ付列格ヲ乞ハントス

拜啓益々御清祥ノ段奉賀候 陳者京城神社及龍頭山神社關幣社列
格ノ儀ニ關シ義ニ内務省内ノ神社調査會ニ内藏致候處別紙寫ノ通
決定アリタル旨回報有之候條御通知申上候 敬具

昭和十一年一月二十三日

拓務省 朝鮮部長

朝鮮總督府 内務局長殿

別紙内協議決定

朝鮮ノ神社ヲ官國幣社ニ昇格ノ件

拓務省ヨリ朝鮮京城府倭城臺南山公園地鎮座京城神社及釜山府辨
天町二丁目龍頭山神社ヲ官國幣社ニ列格セシムルノ當否並列格セ
シムル場合ニ於ケル社格ニ關シ神社調査會ニ内協議ノ上回答アリ
タキ旨ノ照會アルヲ以テ右ハ何レモ國幣小社ヲ適當ト認メラルル
コトトシテ回答致シ度シ

尙將來朝鮮ニ於ケル此ノ種ノ問題ニ關シテハ大体一道ニ付國幣社
一社ヲ超エサル程度ニ限局スルヲ適當ト思料セラルルヲ以テ爲念
此ノ趣旨ヲ附加致シ度シ

拓四五九

土七六

昭和十一年七月二十五日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

陸軍大臣

文部大臣

逓信大臣

内務大臣

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

大藏大臣

司法大臣

商工大臣

拓務大臣

別紙拓務大臣請議朝鮮ニ於ケル官國幣社以外ノ

神社ノ神饌幣帛料供進ニ關スル件制定ノ件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ